

2017.12.1

名刺管理アプリ「Wantedly People」の Android アプリが Google Play 「ベスト オブ 2017」 イノベーティブ部門入賞



ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリーは、名刺管理アプリ「Wantedly People」の Android アプリが、日本の Google 社より本日発表された Google Play 「ベスト オブ 2017」において、「イノベーティブ部門」に入賞したことをお知らせいたします。「イノベーティブ部門」は『お金や時間を画期的に管理する、周囲の人を助ける、世界を旅するといったあなたの夢を革新的な方法でかなえるアプリ』として選出されています。

▼Google Play 「ベスト オブ 2017」ノミネート一覧
<https://japan.googleblog.com/2017/12/play-best-of-2017.html>

「Wantedly People」について

「Wantedly People」は、人工知能が最大 10 枚の名刺をリアルタイムで解析し、瞬時にデータ化できる名刺管理アプリです。人工知能により、名刺を読み込めば読み込むほど読み込みの精度が向上していきます。

「Wantedly People」は、ユーザーが自身の資産として名刺を管理し、名刺交換からビジネスパーソンが実際に繋がっていくことで、人脈構築を可能とすることを目指しています。昨年、2016 年 11 月にアプリをリリースしてから、多くのビジネスパーソンに支持されるツールへと成長を続け、ユーザー数は 100 万人以上、名刺のスキャン枚数も 3,000 万枚を超えています。

▼「Wantedly People」サイト
<https://p.wantedly.com/>

▼「Wantedly People」Android 版アプリ
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.wantedly.android.namecard_scanner&hl=ja

「Wantedly People」 サービス特徴

「Wantedly People」は、最大 10 枚の名刺をスマートフォンのカメラで同時に読み取り、瞬時にデータ化できる、無料の名刺管理アプリです。「Wantedly People」の特徴は主に以下となります。

1. 人工知能が最大 10 枚の名刺をリアルタイムで解析、瞬時にデータ化。スキャンスナップとも連携。
2. 読み込んだ名刺の持ち主が「Wantedly」上にプロフィールを登録している場合、そのプロフィール情報を連絡先の情報へ同期。
3. 一定時間で使用不可となる URL を利用した、オンライン上での名刺の貸し借り機能。
4. 他のツールで管理している名刺データを CSV 形式で移行できるインポート機能。
5. 氏名や企業名だけでなく、役職名、電話番号、メールアドレス、住所、メモからも検索が可能。
6. PC 版から読み込んだ名刺の情報の閲覧/編集が可能。CSV ファイルでのデータエクスポートにも対応。
7. 交換した名刺の情報をもとに“話題”を提供し、ビジネス上の人脈構築をサポートする機能。

プロダクトに関する問い合わせ	: support@wantedly.com
編集に関する問い合わせ	: editors@wantedly.com
広告販売に関する問い合わせ	: 03-6868-8200 wp_sales@wantedly.com

ウォンテッドリー株式会社について

ウォンテッドリー株式会社は、『シゴトでココロオドル人をふやす』を企業理念に、ビジネスパーソン向けにサービスを展開しています。ビジネス SNS「Wantedly」は、2012 年 2 月の公式リリースから現在まで利用企業社数 2 万 5 千社、月間利用ユーザー数 150 万人を超え、全てのビジネスパーソンにとって様々な出会いを提供するプラットフォームを目指しています。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010 年 9 月
事業概要 : 月間 150 万人が利用するビジネス SNS「Wantedly」
会社訪問サービス「Wantedly Visit」
ブログ投稿プラットフォーム「Wantedly Feed」
ビジネスチャット「Wantedly Chat」
名刺管理アプリ「Wantedly People」
社内ツールの口コミサイト「Wantedly Tools」
ポートフォリオサイト「Wantedly Case」